

1. 居住地の移転先(案)

区域名	茂師地区	小本駅周辺地区	中里地区	小本地区
地区特性	<ul style="list-style-type: none"> 住宅及び学校の高所移転候補地 山頂部の平坦地(町有地を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅及び学校の津波浸水区域外移転候補地 小本駅を中心とした市街地を含む地区 三陸北自動車道のICを含む地区 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅及び学校の津波浸水区域外移転候補地 国道455号線沿線の町有地を含む資材置場、未利用地 河川区域(町有地含) 	<ul style="list-style-type: none"> 津波浸水区域 被災住宅が存在し、被災者個人による住宅の補修、再築が行われている。 小学校まで浸水
整備概要 整備区域面積 整備概要	<ul style="list-style-type: none"> 1.8ha 旧45号線からのアプローチ道路を整備 道路、上水道、合併浄化槽を整備し、保育園、小中学校と一団地の住宅地を造成 高所移転住宅用地：39画地 	<ul style="list-style-type: none"> 9.0ha 小本駅を中心として駅前広場、防災センター、住宅地及び学校等の総合的な整備 浸水区域外住宅用地：50画地 小本支所、商業施設、集会施設なども併せ持った複合的な町営住宅の建設 	<ul style="list-style-type: none"> 8.0ha 道路、上水道、合併浄化槽を整備し、保育園、小中学校用地と一団の住宅地を一体的・総合的に整備 浸水区域外住宅用地：50画地 一部を商業業務用地として利用 	<ul style="list-style-type: none"> 6.0ha 既存集落に対する津波高潮対策として、防潮堤、河川堤防の整備 現況宅地のライフラインの補修・整備
概算工事費等 概算工事費	2.6億円	11.1億円	5.0億円	2.0億円
用地取得の必要性	一部有	有	一部有	無
施行期間	概ね4年 (旧45号線の改修を含まない)	概ね5年 (複合的な町営住宅等の建設期間を含む)	概ね4年	概ね3年
留意点 メリット	<ul style="list-style-type: none"> 高台の住宅地、津波の危険はない。 一部町有地、用地取得が容易。 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅及び学校の一体的な整備が図られ、新しいコミュニティの創設につながる。 小本地区の核を形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校及び住宅の一体的な整備が図られ、新しいコミュニティの創設につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回と同様、同程度以下の津波に対しては、既存集落を守ることができる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 開発地へのアプローチ道路が狭隘、急勾配のため、道路改良工事が必要になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 用地取得が必要であり、関係権利者の合意が必要になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1.7haの用地取得が必要であり、関係権利者の合意が必要になる。 現状は河川区域であるため、用途の変更及び国道の振替が前提条件となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 浸水区域内であり、堤防に接した地域であることから、未曾有の津波に対する危険が懸念される。 避難路、避難施設等の整備とソフト面での対応が必須となる。

2. 保育園・小中学校の移転先（案）

区域名	茂師地区	小本駅周辺地区	中里地区
地区特性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の高所移転候補地 ・ 山頂部の平坦地（町有地を含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の津波浸水区域外移転候補地 ・ 小本駅を中心とした市街地を含む地区 ・ 三陸北自動車道のICを含む地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の津波浸水区域外移転候補地 ・ 国道455号線沿線の町有地を含む資材置場、未利用地 ・ 河川区域（町有地を含む）
整備概要 施設敷地面積 整備概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3.0ha ・ 旧45号線からのアプローチ道路を整備 ・ 保育園、小中学校の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3.4ha ・ 保育園、小中学校の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3.2ha ・ 保育園、小中学校の整備
概算工事費等 敷地整備費	0.5億円	2.2億円	0.2億円
用地取得の必要性	一部有	有	一部有
施行期間	概ね3年 (校舎等の建設期間を含む)	概ね3年 (校舎等の建設期間を含む)	概ね3年 (校舎等の建設期間を含む)
留意点 メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高台移転のため、津波の危険はない。 ・ 一部町有地、用地取得が容易。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 津波浸水区域外への移転のため、津波の危険はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 津波浸水区域外への移転のため、津波の危険はない。 ・ 一部町有地、用地取得が容易。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発地へのアプローチ道路が狭隘、急勾配のため、道路改良工事が必要になる。 ・ 小本・中野等の既存集落と離れてしまうので、通学のためのバスが必要になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用地取得が必要であり、関係権利者の合意が必要になる。 ・ 河川堤防の改修が必須条件になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小本・中野等の既存集落と離れてしまうので、通学のためのバスが必要になる。 ・ 現状は河川区域であるため、用途の変更及び国道の振替が前提条件となる。